



2021-22
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を
豊かにするために

Rotary

シェカール・メータ

2021~2022年度 標語 諫早西ロータリークラブ
「ビジョンを持って繋げよう未来へ」 会長 毎熊 正太郎



第1734例会 2022年 4 月 27 日例会記録 NO.31 天候 晴れ

【本 日】会員数 47名 出席 40名 欠席 1名 出席率 97.78%
【4/20】会員数 47名 出席 45名 欠席 1名 (MU 8名) 免除 2名 出席率 100.00%

来 訪 者



ビジター

森 栄一郎 ガバナー補佐 様

会 長 の 時 間

皆様こんにちは!! 今週月曜日、平安閣にて次年度の第1回委員長会議があり、各委員会の活動計画及び予算案が提出されました。本年度の事業計画にて、来年度へ繋ぐ活動として「諫早公園つつじ満開プロジェクト」と「ウクライナへの支援活動事業」があります。引き続き、各委員会の皆様方には、宜しくお願いします。4月も終わり、ゴールデンウィークが始まりますが、コロナ禍の中で皆様も、元気で健やかにお過ごし下さいませよう願います。又、先週もお願い申し上げましたが、会員増強の強化をお願いします。「この人はどうだろうと思う方がいらっしゃいましたら、1人でも2人でも推薦いただけますようお願い致します」と、柏木増強副委員長も申しておりました。会長の時間でした。



毎熊 正太郎 会長

幹 事 報 告

【例会変更】

※諫早ロータリークラブより

日時：令和4年5月13日(金) 12:30
⇒ 18:30~

場所：ホテルグランドパレス諫早

※家族懇親例会のため

【例会休会】

※諫早ロータリークラブより

日時：令和4年4月29日(金・祝日)
※定款第7条第1節(d)により

※諫早多良見ロータリークラブより

日時：令和4年5月3日(火)
※定款第7条第1節(d)により

会 長／毎熊 正太郎 幹 事／江嶋 利満 創立日／昭和60年2月20日 認証日／昭和60年3月5日
例会場／平安閣 諫早サンプリエール(毎週水曜日) 〒854-0053 諫早市小川町71-1 TEL (0957) 24-3907
事務局／諫早商工会議所内 〒854-0016 諫早市高城町5番10号 TEL (0957) 22-3323
会報委員／野中 英己・友永 俊介・平野 義信・久保 泰正・浦江 芳征
HP/<http://isahaya-west.com> E-mail/info@isahaya-west.com

😊 スマイルボックス 😊

森 栄一郎ガバナー補佐様（諫早北 RC）
 ：公式訪問以来の訪問になります。今日は
 宜しくお願い致します。

毎熊正太郎君：森ガバナー補佐、御来訪を歓迎致します。

永井 栄次君：先日佐賀にて、地区研修会に参加して来
 ました。夕方遅くまでピッチシでした。
 それと先日の次期の役員・理事・委員長会
 参加していただきありがとうございました。
 次年度も宜しく。

友永 俊介君：長男が日大サッカー部にて、2年生ながら
 背番号 10 番を背負わせて頂く事になり
 ました。頑張って欲しいものです。

辻 保行君：皆様、家庭集会お疲れ様でした。

吉田健一郎君：森ガバナー補佐、ようこそお越しくださ
 いました。西ロータリーは居心地が良い
 ので、ごゆっくりして下さい。

荒木 公義君：森栄一郎ガバナー補佐、久しぶりの御来
 訪ですね。ありがとうございます。

早田 和彦君：片目の早田がニコニコします。

福田 和幸君：両目の福田もします。気持ちです。

本日の合計 (4/27)	累 計 額
¥ 2 0 , 0 0 0	¥ 1 , 0 8 9 , 6 2 0

第 2 回家庭集会発表

- テーマ ① 次年度の委員会活動の取り組み、及び改善点。
 ② よりクラブの活性化のため他の委員会に望むこと。

A 班

① 次年度の委員会活動の取り組み、及び改善点。

◆プログラム委員会

- ・プログラムを 1 人でやるのではなくて、協力して
 数人でいいので話し合い、調整し、決定していけば
 いい。
- ・「ロータリーだから、こんな話が聞けた」というよ
 うな外部卓話などをして欲しい。

◆親睦委員会

- ・親睦あつてのロータリーと思うので、予算などみん
 なで協力して、費用対効果を上げ、ロータリーだか
 らできる事を考えてやってみよう!!
- ・会費を集めても、新年例会とかは家族の出席、余興
 とかも考えてみるといいと思う。
- ・結婚、誕生日は、みんなが喜ぶものをやってみるの
 もいいのではないかな。

② よりクラブの活性化のため他の委員会に望むこと。

◆プログラム委員会

- ・外部卓話をもっと身近でためになる話が聞きたい。
- ・プログラム、SAA、幹事、この 3 つが調整してピッ
 タリとなれば、会がまとまるので、例会がスムーズ
 に行われると思う。
- ・時間次第では、次回にまわしたりして、無理なく行う。

▶予算について

- ・事業はニコニコでやっているの、年間 1 人 3 ～
 4 万円を目標にしたいと思う。

▶新会員

- ・わからない事が多すぎて、質問する事がわからない。
 これに対して、委員会活動によって疑問点がでてき
 たら、いろいろと聞けるようになって欲しい。

▶結論

- ・ロータリーは、人を成長させるものだと思う。だか
 ら、例会を通して、末永く繋がっていく事が大切で
 あると思う。

B 班

① 次年度の委員会活動の取り組み、及び改善点。

◆職業奉仕委員会

- ・まだコロナの終息が見られないため、職場訪問は開
 催しない。
- ・例会時の部外卓話を中心に計画。（4 回実施予定）
- ・オンラインでの ZOOM による卓話、または録画に
 による卓話でもいいのでは。
 →予算を抑えたり、コロナによる移動のリスク回避
 とか有名な方への依頼もできるのでは？
- ・西クラブはオンライン会議等の機材を保有していない。
 →オンライン会議等の環境を整えたり、会員の理解
 も求めていく必要がある。

多良見 RC ではすでに、リモートによる例会を行っているのですが、情報を頂いてはどうか？

◆社会奉仕委員会

- ・諫早公園プロジェクト2年目。現在、樹木匠と協議を重ね、市への提案書作成中。5月18日に諫早市長を例会にお招きして提案予定。市と協議をしながら次の段階へ。
- ・子供弁当は来期の計画なし。その代わり、ひとり親家庭への支援について検討。

- ② よりクラブの活性化のため他の委員会に望むこと。
- ・特に意見はなかった。

▶その他意見交換

- ・今年行われた医療従事者への支援は行われなかったのか。
- ・奉仕4大委員会の予算が大きくなっているので、もう少し抑えることはできないのか。
- ・奉仕4大委員会があるが、共通メンバーとして10名程動ける部隊を作って活動を活発化させては。
- ・2740地区において10番目程の規模の団体であるため、留学生のお世話クラブとして手を上げなくていいのか。
- ・ロータリーの根幹は何か。
- ・現在RIの考え方は、地域奉仕と国際奉仕の2つであるが、初期の親睦目的から社会奉仕へと変化している。現在統一性を出そうとしているのか、独自性を認めるかのせめぎ合いの状況ではないか。

C 班

- ① 次年度の委員会活動の取り組み、及び改善点。

◆会員増強委員会

- ・5名増加を計画。
- ・女性会員OK
→すばらしい女性経営者もいる。
- ・職種を選ぶ。水商売の女性はNG
「質を深める」数ではない「今を活性化させる」
- ・運営できる状態であれば人数は関係ない。

◆公共イメージ委員会

- ・常にアンテナを立てイメージアップを図る。

◆ロータリー財団委員会

- ・米山奨学金負担金、ロータリー財団寄付とも来期目標達成の予定。

- ② よりクラブの活性化のため他の委員会に望むこと。

- ・各委員会、每期同じ活動が多い。
- ・ちょこちょこした活動より質のある活動をドンと1つ行う方が良いのでは。
- ・外部卓話を増やしてほしい。

D 班

- ① 次年度の委員会活動の取り組み、及び改善点。

◆青少年奉仕委員会

- ・2年間開催されていない
→変えるものは変更し、変えちゃダメなものは残す。
DEIを意識した活動を目指す。
- ・ミニバスケットボール大会の看板を安全の為、素材の変更してみてもいい。
- ・ミニラグビー大会にて、事故防衛対策と記念品は予算を取り、対策は各チーム、連盟へ依頼してはどうか。
- ・ラグビーの熱中症対策費、コロナ対策費を増強してはどうか。
- ・登録料を各チームから取り、賄える分を検討して頂く
- ・事故等の防衛のため個人の承諾書を得る必要があるのではないか。
- ・県のラグビーガイドラインを検討する。

◆国際奉仕委員会

- ・今までの留学生の集いを辞めて、交流会、留学生、市民とのウォーキングを企画してはどうか。
- ・ダービースクールは遠征に行く。（コロナ次第）
- ・フードドライブは特別企画で。
- ・難民支援のレクレーションを企画。
- ・ウクライナ難民支援へ、各事業所へ募金箱を設置依頼を検討。
- ・米山留学生の出前卓話の検討。

- ② よりクラブの活性化のため他の委員会に望むこと。

- ・プログラム委員会へ、部外卓話を充実させて欲しい。

E 班

- ① 次年度の委員会活動の取り組み、及び改善点。

- ② よりクラブの活性化のため他の委員会に望むこと。

- ・引き継ぎがまだではあるが、うまく次年度へ引き継ぎをする機会を多めにほしい。
- ・会員の入会を促進→職業分類を埋めたい。
- ・ニコニコを集めるのは大変だが、是非会員にもう一度趣旨を理解してもらい、参加してほしい。
- ・今はコロナで少ないが、奉仕活動が多いと思うので

- 単純に継続だけでなく、縮小も考える必要がある。
- ・出席委員会としては、出席を促すように考えていきたい。
- ・出席要請を入会が3年未満の方々ばかりに言っているが、ベテランの方にも出席を要請していきたい。
- ・会員の出費を抑えていけるように会員全員で考えていきたい。

- ・楽しんで参加したくなる例会を作ってほしい。
- ・タイムスケジュールの充実化をお願いしたい。
- ・楽しいと思えば出席は増えると思う。
- ・年代など新旧入れ替わってきているので、今後が楽しみである。
- ・次年度の会長の色を楽しみにしている。

ロータリーの友4月号『ロータリー財団管理委員長からのメッセージ』より

その瞬間をつかもう

ロータリー活動にまい進し、今後も一生ロータリアンで居続けようと決意した瞬間、それがロータリーモメントです。私はそのような瞬間を何度も経験してきましたが、どれも共通点があります。それは、より良い世界への夢を実現するロータリーの具体的な力を示していることです。

ロータリーの会員は卓越した能力を持っています。私は自分のクラブでこの力を目の当たりにしてきました。そして今、ロータリー財団の管理委員長として、世界中のクラブと地区でこの力を目にしています。

オーストリア、ドイツ、ナイジェリア、スイスのロータリーの会員は、ナイジェリアの母子を支援する夢を実現するため、複数の団体と協力して望まない出産の件数を減らし、母子の死亡率を低下させるための複数年にわたる大規模なプロジェクトを立ち上げました。今や財団のグローバル補助金事業となり、ナイジェリアの全36州で医師、看護師、助産師の養成を行っています。

どのような素晴らしいプロジェクトも、ロータリーの会員の心の中から始まります。学校に個室のトイレがないために思春期の少女が不登校になったという現実直面したのは皆さんです。食料不足に直面している家族や読み書きができない子ども、蚊を原因とする健康問題を抱えている地域社会に直面したのも皆さんです。しかし見ているだけではなく、ロータリーの一員として、そういった問題に対して行動を起こしているのです。

こういった取り組みにより、財団がグローバル補助金を承認した金額はこの10年間で2倍以上も増加しました。活動が増えるにつれ、補助金を継続するために、間接費の削減などで資金を調整する必要があります。その理由はプロジェクトの必要性が高まり、補助金件数も増加する一方で、ロータリーの会員による年次寄付額はここ何年もの間さほど伸びなかったためです。平たく言えば、地区補助金やグローバル補助金プログラムを維持するためには、クラブや会員からの年次基金への寄付を増やす必要があります。今年度、年次基金の目標は1億2,500万ドルに設定しました。皆さんのご支援なしには、どの会員の夢も実現することはできません。

忘れないでいただきたいのは、重要なのは寄付金の額ではなく、寄付金により何が実現できるか、ということです。クラブとしても個人としても、毎年できる限り財団を支援することで、世界をより良いものにするために、次の一步を踏み出すことができると私は確信しています。全会員と全ロータリークラブが集結し、今日、ロータリー財団に寄付をすることで実現できるロータリーの夢を想像してみてください。それは、私たち全員にとって大きなロータリーモメントになることでしょう。

JOHN F.GERM

2021-22年度ロータリー財団管理委員会